

ゆみこの 議員活動 報告書

2008.12.15

5

発行 宮下裕美子（月形町議会議員）
樺戸郡月形町市南1 TEL・FAX 0126-53-2611
メール mail@yumiko3.net
ホームページ <http://www.yumiko3.net/>
ゆみこの日記 <http://www.yumiko3.net/blog/>

利用状況

利用者数は入院（病床利用率90.2%→93.3%）外来とも増加。

収益的収支

収入は約2,100万円の増（利用者増による）。支出は約100万円の減（薬品費の節減が大きい）。

全体の収支

純損失は約3,450万円。減価償却費（約4,530万円）内に収まっているので、前年度に比べ改善されている。（赤字は出ているが貯金で賄える範囲）

その他

- ◆ 町立病院の運営に対して、一般会計からの繰り出しは交付税算定分（救急医療、不採算地域、高度医療等）のみ。赤字補填のための繰り出しはしていない。ただし施設修繕や医療機器の購入などは別途一般会計から支出。
- ◆ 町立病院内に療養病床はないものの、老人施設に週1回の回診を行い、医療と介護の連携がとられている。
- ◆ 常勤医3名と各科出張医が確保されている。
- ◆ 町立病院利用者のうち、町民は約8割。（町民の何割が町立病院を利用しているかは調査できない。）

議員2年目はアツという間に過ぎ去ります。1年目、議会というだけでドキドキ汗ばんだのがウソのように、日常生活に議員の仕事が組み込まれました。「経験てスゴイ」と感じます。その一方で議員の常識に飲み込まれたのではないかと、不安になることがあります。自分では「自分の立ち位置」が見えないのです。

そんな時、ある青年が「不安を持っているのなら大丈夫では？」と声をかけてくれました。嬉しい一言でした。

悩みながら、迷いながら進んでいます。みなさんの声で「自分の立ち位置」を確かめることができます。応援もしかり批判もしかり。この報告書が「みなさんの声」のきっかけになったなら嬉しいです。

月形町立病院の運営

平成19年度の決算について、7月の総務民教常任委員会と9月の決算特別委員会で調査・審議を行ったので報告します。

なお、全て平成18年度決算との比較です。

委員会から

道内各地で医師不足による医療体制縮小がある中、関係大学と医師の努力により医師数が確保されていることに大変感謝している。また経営改善がなされたのは、医師と職員が一丸となって努力した成果だと理解している。

しかし赤字は赤字。今後も営業努力や、国保および町の保健部門との連携を強化して欲しい。また広域連携の中での位置づけを示していく必要もある。

ゆみこの目

私は様々な機会を通して、病院関係者が経営に真剣に取り組んでいると感じますが、町民には浸透していないとも感じています。医療と介護の充実した連携や1.5次救急を目指す姿など、もっと知ってもらいたいと思うと同時に、利用者満足度の向上という課題もあると考えます。

医療制度や近隣の医療機関の状況が変わる中、桜庭町長が町立病院の存続を公約し支持された今、町民も含めたみんなの知恵と協力が必要です。

各種協議会等の活性化について

〔説明〕 月形町には町の方向性や問題点を専門的に話し合い担っている、協議会・委員会・審議会等がある。その中には条例で定められたものが約 30 (例：選挙管理委員会、月形町廃棄物減量等推進審議会)、それ以外に民間中心で事務局が役場にあるものも多数ある (例：月形町環境保全推進会議、イベント実行委員会)。

今回の議論では、「特殊な資格や能力を要するもの」や「選挙を経て選ばれるもの」は含まない。

質問・宮下

各種協議会等は「専門的な議論をする場」であり「情報の発信地」「町民と行政をつなぐパイプ」であると考えている。つまり、自分達の問題を自分達で解決するという協働の精神を体験する場であり、委員の入れ替わりや様々な人が関わることが重要である。しかし、様々な協議会等に出席するようになって感じたのは、

- 同じ顔ぶれ、似通った目的を持つ組織が多い
- 会議が儀礼化し、新たな発想や展開が少ないということ。私は活性化を阻害する要因が「委員の長期在任」や「構成」にあると考えた。

【現状と問題点】

- 委員の再任に上限がない
 - ▲ 安易な再任にならないか
- 団体や地域への当て役
 - ▲ 同じ時期に同じ人が多数の委員になる
 - ▲ 女性や若い世代が少ない

町長はどのように考えるか伺いたい。

回答・町長

人口 4,000 人で高齢化も進んでいる現状では、一人が二役三役を持っているのは致し方ない。また長期在任が全て悪いわけではない。経験は多くの活動の基礎であり、長期間一生懸命やってもらっている。私のところに長期在任弊害の声は届いていない。また(当て役とした)所属団体の推薦に、行政が立ち入るのは筋違いと考える。

再質問・宮下

「4,000 人も人がいる」というとらえ方はできないか。経験が重要というが最初は皆一年生、新しい人が経験を積むことも重要である。また「委員のなり手がいない」のは事実。町民の積極的な行政参加がなければ私の指摘した問題点を解決する術はない。

私が問題にしているのは、長期在任を認めざるを得ない制度や方向性であって、個別の問題ではない。施策によって委員のバランスをとり、住民の意思を反映することは何ら問題がないと考える。行政が先頭に立って意向を示す必要があるのではないか。時代を引っ張るのは行政の役目である。

これらの考えから、4つの改善を提案する。町長の考えを伺いたい。

1. 再任の上限を決める。
2. 一般公募を取り入れる。
3. 地域担当者が人材を発掘し、登用する。
4. 当て役を行う場合、年齢や性別などの条件を付ける。

再回答・町長

1. 再任が悪いことは絶対はない。所管課も人を発掘する努力をしている。
2. 一般公募は今までも何度か取り入れているし、これからも行う。
3. 地域担当職員は地域の人材を全て掌握していると理解している。
4. 年代構成のバランスがとれていることは大事であるが、商工会や農協の青年部は人員が減っている。少ない人数で頑張っている組織に、さらに役を担ってもらうことは可能か？絶対数が足りないと考えている。



再々質問・宮下

町の姿勢として「人員を新しくする」とか「構成を考える」等があってしかるべきと考えて質問している。町は基本的に「組織単位」でしか物事を見ていないことに問題がある。

すでに組織は弱体化し、個人的な活動のもとに多様な町民が暮らしている。にもかかわらず、組織への当て役という古くからの形に固執していて、現状を充分に見据えていない。この考え方に対し一石を投じたいと一般質問した。

町民の多様性を取り入れる手だては何か、伺いたい。

再々回答・町長

各種協議会等組織の見直し（統廃合）は今後もやっていかねばならない。委員の選任は、公平・公正をもって地域的・年齢的なことも含めて現在も行っている。外部からの批判等があるなら、今後において広く意見を聞きながら検討したい。

なお、4,000人しかいないこと、公務員（刑務官や役場職員等）は委員につくことができないことは理解していただきたい。

ゆみこの目

今回の問題の根本は「委員のなり手がいない」このことに尽きます。これをどう捉えるかで議論も行動も変わってくると思います。

私の意見は、現実はさておき、目標を定めそれに向かって努力するという理想論でした。それに対し、町長の回答は現実に主眼を置き、組織の円滑な運営を目指したものだっただと思います。お互いの議論がかみ合ったとは言えませんが、問題点だけは共有できたと思います。

どちらにしても「委員のなり手がいない」という現実を打破しなければ、一步も進みません。そのためには【行政への住民参加】が欠かせません。

「私たちのまち」のことは、私たち「住民」が考え行動することから始まります。一人一役から、みんなで一緒にやりましょう！



第56回北海道女性議員協議会（10.16～17）の報告

この会は道内の女性（道市町村）議会議員による任意団体で、毎年1回全道各地で開催されています。今年は岩見沢市を会場に、近隣の女性議員20名を実行委員として企画・運営されました。私もその一員です。

現在、全道の女性議員は228名で全体の約1割。この会が開設された昭和27年当時はわずか7名だったものが、時代と共に徐々に増えています。今回の参加者は62名でしたが、党や会派を超えて、『一女性議員』というくくりで集まるこの会は大変魅力的です。

総会

参加者の全員一致を原則に議案を審議し、「要望書」として国などに働きかけていきます。主義主張を持ち、もの怖じしない女性議員同士の議論は白熱、最後は合意に至ります。議論の実践として大変刺激を受けました。

今回議決した意見書は「介護保険制度」「支庁制度再編」「原油高騰問題」「脳脊髄減少症」に関する4本。身近な問題に目を向けています。

記念講演会

北海道教育大札幌校准教授 佐々木貴子先生による「防災の視点から まち育て、人育て」と題した講演と演習でした。

DIG（ディグ：災害図上訓練）の手法を用いた「まちの力」を高めるための勉強会で、身近な防災訓練にも応用できます。いずれ月形町内の町内会や行政区等で実施したいと考えています。

ゆみこの目

今、女性の視点が求められています。しかし女性議員は1割以下で充分反映できていません。議会にはもっと女性が必要です。

今回、先輩や同輩議員から勇気と知恵をいただきました。これを力に、月形町議会唯一の女性議員として「が・ん・ば・り・ま・す！」

月	日	項目	分類	会場	内容
6	1	月形町国際交流協会日中友好講演会&交流会	○	はな工房	中国駐札幌総領事胡勝才ご夫妻を囲んで
	4	国民健康保険運営協議会(H20第1回)	○	月形町役場	報告と決算見込み、H20年度保険税賦課率
	5	不法投棄の未然防止対策セミナー	★	札幌市	不法投棄未然防止のための理論と実践報告
	8	月形小学校運動会	○	月小グラウンド	
	13	地球温暖化防止に関する講演会	★	新十津川町	主催:地球を愛する会@新十津川 司会を担当
	14	ゴミ分別説明会	★	月形町内	小グループでの学習会に講師として参加
	17	議員協議会	◎	議員控室	議員活動(公式)の報告、他
		定例会(H20第2回)	◎	本会議場	一般質問、議案の議決、他
	18	定例会(H20第2回)	◎	本会議場	意見書、会議案、議員派遣(道外視察)の議決
		議員協議会	◎	議員控室	協議報告(高校配置計画他)、政務調査費
	20	キャンドルナイト in 月形 プレイベント	★	月形町内	地球を愛する会@月形・空知支庁
	24	グリーンツーリズム研修会	★	月形町役場	修学旅行生の農業体験受け入れの説明
	25	ゴミ分別説明会	★	福祉センター	某団体地域サポート事業に講師として参加
	28	国立環境研究所公開シンポジウム2008	★	札幌市	研究員による地球温暖化に関する報告会
29	行政区対抗ソフトボール大会	★	円山野球場		
30	町民交通安全1000人パレード	○	国道275号線	毎年恒例町民参加の交通安全イベント	
7	1	北海道町村議会議長会主催 議員研修会	◎	札幌市	「分権改革と地方議会のこれから」坪井ゆづる氏 「混迷する政局と日本の進路」三宅 久之氏
	2	戦没者追悼式	○	樺戸神社	忠魂碑前で130名の戦没者に哀悼の意を捧げる
	5	自然エネルギー都市会合	★	札幌市	・海外研究者、実践者による自然エネルギー講演 ・市長セッション(横浜、北九州、川崎、札幌) ・国会での自然エネルギー推進状況(衆参議員他)
	7	全道女性議員協議会第3回実行委員会	★	岩見沢市	
	8	南空知町村議会議員親睦パークゴルフ大会	■	皆楽公園	長沼・南幌・由仁・栗山・月形の各議員が参加
	10	田園空間博物館 企画部会議	★	浦臼町役場	フォトコンテストの募集要領について
	11	空知町村議会議長会主催 議員研修会	◎	秩父別町	「自治の興廃は地方議会にあり」土屋侯保氏
		徳富ダム視察研修	◎	新十津川町	札比内に用水を供給する徳富ダム建設現場の視察
	14	臨時会(H20第2回)	◎	本会議場	月形町交流センターの工事入札に関する議案
		空知農民緊急集会	★	岩見沢市	生産資材費高騰に対する緊急集会&デモ行進
	24	総務民教常任委員会	◎	委員会室	・月形町立病院の運営状況について ・ぬくもり福祉券交付事業について
	25	産業建設常任委員会	◎	委員会室 月形町内山林	・林道の管理状況調査&現地視察
	27	つきがた夏祭り	★■	皆楽公園	田園空間博物館資料展示&後片付けのお手伝い
	28	全道女性議員協議会第4回実行委員会	★	岩見沢市役所	
8	11	月形町土地開発公社理事会(H20第3回)	○	月形町役場	法律の改正にともなう定款の改正
	28	全道女性議員協議会第5回実行委員会	★	岩見沢市役所	
	30	南空知PTA連合会研究大会 兼 月形町PTA連合会研究大会	★	多目的研修	講演「子どもの心が見えますか」 川村道夫氏 提言「情報モラルの育成等について」小山茂樹氏
		町内5団体パークゴルフ大会	■	皆楽公園	農協、商工会、農業委員会、土地改良区、議会
31	月形消防公設110周年消防演習	○	月小グラウンド	例年の演習内容+古式隊による腕用ポンプ操法	

※ 分類 ○:議会活動、○:議員活動(公式)、★:議員活動(個人)・地域活動、■:議員会活動(親睦団体)

※ 定例会、臨時会、特別委員会の詳しい内容は【町民サロン】と【月形町ホームページ】>議会>議会のうごきで公開。

※ 上記の議員活動について、詳しい内容と感想などをブログ「ゆみこの日記」で公開しています。

編集後記

この号では、これからの月形を見据えたときに、私が「特に重要な課題になる」と考えている「町立病院」「行政との協働と活性化」「女性の視点」について報告しました。これらの課題の解決には現実から出発した考えや行動だけでなく、時には理想を掲げ、それに向かって進むことも重要だと考えます。どこに行くのか解らなければ目的地には着けませんよね。

皆様のご意見やご感想をお寄せください。お待ちしております。

